

User Guide 取扱説明書

D01NX

netindex





モバイル・リサイクル・ネットワーク

携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するためにお客さまが不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランドメーカーを問わず、モバイル・リサイクル・ネットワークのマーク(左記マーク)のあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

はじめに

このたびはDO1NX (以降、本CFカードと呼びます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。またお読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

不明な点がございましたら、ご契約先の問い合わせ窓口にご連絡ください。

■本CFカードが使用できる使用環境は次のとおりです。

PCカードスロットType II (付属のPCカードアダプタ使用)もしくはCFカードスロットType IIを装備したパソコン。

■本CFカードが使用できるOSは次のとおりです。

- Windows 2000 Professional Service Pack4以降(日本語版)
- Windows XP Professional / Home Edition Service Pack1以降(日本語版)
- Windows Vista Home Basic / Home Premium / Business / Enterprise / Ultimate (日本語版)

上記に該当する場合でも、パソコンや周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客さまがご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。

また、初めてデータ通信やインターネットを利用する方のために、専門用語集を「付録」に簡単に記載、説明しておりますので、ご一読ください。

ご使用前に、必ず「安全上のご注意」をよくお読みの上、安全に正しくお取り扱いください。また、本書は、お読みになった後も、必要な時にすぐに見られるよう、大切に保管しておいてください。

確認

- パソコンに対するサポートやOSのバージョンアップなどのサービスに関するお問い合わせは、各マニュアルをお読みの上、各メーカーの定める手順に従ってください。

おことわり

- 本書内で使用されている表示画面、イラストなどは説明用に作成されたものです。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁じます。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。
- 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害およびその回復に要する費用に対し、当社および販売店などは一切の責任を負いません。
- 本CFカードを廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理するようお願いいたします。梱包材、同梱物についても分別にご協力ください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。
- 本CFカードに搭載・同梱されているソフトウェアまたはその一部を、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブリを行ったり、それに関与してはなりません。

Hayes（ヘイズ）は米国Hayes Micro Computer Products, Inc.の登録商標または商標です。

Microsoftおよび、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

PCMCIAは、Personal Computer Memory Card International Association（米国）の商標です。

「EMOBILE」「イー・モバイル」および「EM」ロゴは、イー・モバイルの商標または登録商標です。

その他、会社名および商品名などは一般に各社の商標または登録商標です。

ご利用いただくにあたって




- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、トンネル、地下、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。またサービスエリア内であっても、地域的に電波の伝わりにくい場所もありますので、あらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることがあります。また、電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本CFカードはパソコンに挿入すると通信をしていなくても電力を消費します。通信をしない時は、できるだけ本CFカードをパソコンより取り外してください。
- 本CFカードは高い通信秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。留意してご利用ください。
- 本CFカードは日本国内でのご利用を前提としています。海外に持ち出での使用はできません。
- 本CFカードは電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 公共の場でご使用の際は周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- ご使用の前に、必ず「安全上のご注意」をよくお読みになり、安全に正しくお取り扱いください。

安全上のご注意



この「安全上のご注意」は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための内容を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。また、お読みになった後は大切に保管してください。








本書では、本CFカードを安全に正しくお使いいただくため、また機器の損傷を防ぐため、次の表示を使って注意事項を喚起しています。これらの表示の意味は次のとおりです。内容をよく理解して、これらの表示が記載されている事項については、必ずお守りください。







■ 危害や損害の程度の区分表示

 危険	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
 警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。
 注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定されることを示しています。

■ お守りいただく内容の区分表示

 禁止	この絵表示は、禁止事項(してはいけないこと)を示しています。
 指示	この絵表示は、強制(必ず実行していただくこと)を示しています。

⚠ 危険	
	分解、改造をしないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。なお本CFカードの改造は電波法違反になります。
	ガソリンスタンドなど引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。 爆発や発火の原因となります。
	強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。 発熱、発火、破壊、故障、本人や他人のけがの原因となります。
	浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。
	コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。 液体がこぼれて濡れると、発熱、故障の原因となります。
	電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れてください。 発熱、発火や故障の原因となります。
	すき間から異物を入れないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。

⚠ 警告	
	車両を運転中に本CFカードを使用しないでください。 交通事故の原因となります。
	航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では使用しないでください。 電子機器や医療機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。
	長時間使用しない場合、本CFカードをパソコンから抜いてください。 感電、火災、故障の原因となります。
	落雷のおそれがあるときは、パソコンの電源を切り、電源プラグを抜いてください。 落雷、感電、発火の原因となります。また屋外の場合は安全な場所へ移動してください。
	内部に水などが入った場合には、すぐに本CFカードをパソコンから取り外し、パソコンの電源を切り、接続を外してご契約先の問い合わせ窓口などへご連絡ください。 そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。
	煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態には、すぐに本CFカードをパソコンから取り外し、パソコンの電源を切ってください。煙が出なくなるのを確認してご契約先の問い合わせ窓口などへご連絡ください。

警告

高精度な電子機器の近くでは使用しないでください。
電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

※影響を受けるおそれがある機器の例：

心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。
医用電気機器を使用される場合は電波による影響について、機器メーカーまたは販売業者に確認してください。また、以下のことを守ってください。

1. 電車の中などで、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、パソコンの電源を切り、本CFカードの使用を控えてください。電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動機が誤動作することがあります。
2. 医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。
 - 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本CFカードを持ち込まないでください。
 - 病棟内では、パソコンの電源を切り、本CFカードを使用しないでください。
 - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、パソコンの電源を切り、本CFカードを使用しないでください。
 - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
3. 自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波の影響で、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。



⚠ 注意

	強い日光や熱風が直接当たる所、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用、放置はしないでください。 発熱、発火、機器の変形や変色、故障の原因となります。また端末が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。
	濡れた手で触らないでください。 感電や故障の原因となります。
	小さなお子さまの手の届かない場所に保管してください。 間違えて飲みこむなど、事故やけがの原因となります。
	お子さまが使用するときは、取扱いに問題がないことを保護者が確認してください。 感電やけがの原因となります。
	自動車の電子機器に影響がでる場合は使用しないでください。 自動車が安全に走行できなくなるおそれがあります。
	ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。 落下して、けがや故障の原因となります。
	人が密集している場所では、使用しないでください。 アンテナで他の人にけがをさせる原因となります。
	アンテナが壊れたままで、使用しないでください。 触ったときにやけど、けがの原因となります。
	アンテナを持って振り回さないでください。 本人や他の人にけがをさせる原因となります。また故障の原因となります。

⚠ 注意



皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用を止め、医師の診断を受けてください。

お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。

●本製品は、以下に記載された材料の使用や表面処理を施しております。

DO1NX本体

使用部分	使用材料、表面処理
アンテナ	ポリカーボネイト樹脂、ステンレス/メッキ
外装ケース	ポリカーボネイト樹脂、ステンレス
ラベル	PET樹脂
CFコネクタ	LCP樹脂
ネジ	鉄鋼材/ニッケルメッキ
外部アンテナ用ジャックカバー	ポリウレタンエラストマー樹脂
EM chip (USIMカード)トレー	ナイロン樹脂

PCカードアダプタ

外装カバー	ステンレス
ラベル	PET樹脂
樹脂フレーム	PBT樹脂
コネクタ	LCP樹脂
シャッター	PPS樹脂
接触パネ	銅合金
シャッターロックパネ	ステンレス
コンタクト	銅合金

外部アンテナ

外装ケース	ABS樹脂
ケーブル	PVC樹脂
コネクタ	銅合金/ニッケルメッキ
プッシュ	PVC樹脂

外部アンテナホルダー

クリップ	ナイロン樹脂
クッション	シリコンゴム

CD-ROM

記録面	アルミニウム
データ面	ポリカーボネイト樹脂

梱装箱

個装箱	ダンボール
緩衝材	ダンボール

キャリングケース

本体	ポリプロピレン樹脂
ファスナー	ナイロン樹脂

EM chip (USIMカード)の取り扱いについて

⚠ 注意

	EM chip (USIMカード)に無理な力を加えないでください。
	EM chip (USIMカード)を本CFカードへ挿入するときや取り外しのときに注意してください。 必要以上の力をかけると、手や指を傷つけたり、EM chipまたは本CFカードの破損の原因となります。
	小さなお子さまの手の届かない場所に保管してください。 間違えて飲みこむなど、事故やけがの原因となります。
	EM chip (USIMカード)を分解、改造しないでください。 データの消失、故障の原因となります。
	他社製品のICカードを本CFカードに挿入しないでください。 故障した場合、お客さまの責任となり、当社では一切の責任を負いません。
	IC部は傷つけたり、ショートさせたりしないでください。 故障の原因となります。
	当社のEM chip (USIMカード)を使用してください。 指定以外のものを使用した場合、データ消失や故障の原因となります。

使用上のご注意

お取り扱いについて

- 本CFカードは防水仕様ではありません。浴室や加湿器のそばといった多湿環境下では使用しないでください。また洗濯機などでは洗わないでください。故障の原因が水濡れであると判明した場合、保証の対象外となります。
- 本CFカードは次のような極端な温度環境での使用を避けてください。
 - ・直射日光の当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近く。
 - ・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
- 本CFカードをエアコンの吹出口の近くなどで使用しないでください。温度が急激に変化することにより結露が発生して、故障の原因となります。
- 本CFカードを湿った衣類のポケットに入れて持ち運ばないでください。衣類のポケットにこもる汗などの湿気が故障の原因となります。
- 本CFカードをテレビ、ラジオ、携帯電話機など電磁波が発生する物の近くで使用しないでください。

お互いに影響を受ける場合がありますので、なるべく離れて使用してください。
- 本CFカードを落としたり強い衝撃を与えたり曲げたりしないでください。落としたり、重い物の下敷きにしたり、変な持ち方をして曲げるなど無理な力を加えないでください。故障の原因となります。この場合、保証の対象外となります。
- 本CFカードを移動するときは、パソコンから取り外してください。パソコンに挿入したまま持ち運びをすると、コネクタなどに誤って衝撃がかかり、故障の原因となります。
- 本CFカードはほこりや湿気の少ない場所に保管してください。故障の原因となります。
- 本CFカードを使用しないときは、付属のケースに入れて保管してください。ほこりなどにより本CFカードの端子が汚れると、パソコンと接続できないことがあります。
- 本CFカードが汚れたり水滴がついたりしたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品や、化学雑巾の使用は、端末の表面を傷めるおそれがありますので、使用しないでください。また、水洗いはしないでください。
- 本CFカードが使用中に熱くなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。そのままお使いください。ただし、長時間触れたまま使用していると低温やけどになる恐れがあります。取り外すときに熱い場合は、本CFカードの側面を持って取り外してください。
- 本CFカードをパソコンに挿入するときは、正しい方向に無理なく挿入してください。逆方向に挿入、または違和感がある状態で挿入すると、故障の原因となります。
- パソコンの電池残量が不足していないことを確認して使用してください。電池が不足していると動作が不安定になります。充電するなどして使用してください。
- 本CFカードをクレジットカードなどに近づけないでください。クレジットカードなどの磁気カードのデータが消えるおそれがあります。
- 本CFカードをパソコンのスロットに挿入したまま長期間保存しないでください。
- 万一、本CFカードから異常な発熱や発煙、異臭が生じた場合は、ただちにご使用のパソコンから取り外してください。お客さまによる修理は危険ですので、絶対におやめください。
- 本CFカードをPCカードアダプタで使用する場合、アダプタのみをPCカードスロットに残した状態で、カードの抜き差しは行わないでください。破損の原因となります。

付属ソフトウェアについて

付属のソフトウェアの使用にあたり、下記の事項にご注意ください。

- お客さまには、本ソフトウェアの使用権のみが許諾されます。著作権が移転するものではありませんので、第三者への譲渡、販売などはできません。
- 本ソフトウェアのコピーは、保管(バックアップ)の目的にのみ許可されます。他人への譲渡、販売等の目的でコピーすることはできません。
- 本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客さまの損害および第三者からのお客さまに対する損害の請求については、当社および販売店などはその一切の責任を負いません。

通信状態について

- 本CFカードが、通信を行っていない状態で、本体の表示ランプ(アンテナマーク側)が赤点灯の時は圏外のため使用できません。同様に表示ランプ(アンテナマーク側)が緑点滅している場合、通信が不安定となる恐れがあります。表示ランプ(アンテナマーク側)が安定して緑点灯している状態で通信を行ってください。
- ただし表示ランプ(アンテナマーク側)が安定して緑点灯している場合でも、回線が混んでいて通信ができない場合があります。この場合、しばらくしてからもう一度接続し直してください。表示ランプ(アンテナマーク側)が赤点灯のまま圏外のため使用できない状態が続いた場合、場所を移動して緑点灯になるようにしてください。(※21ページ「表示ランプについて」参照)

その他

- パソコンの電源がONの状態のまま本CFカードを取り外すと、動作が不安定になる場合があります。その場合は電源をOFFにするか、または「カードの取り外し」を選んでから取り外すようにしてください。(カードの取り外し方については、「第3章 ユーティリティ」をお読みください)
- パソコンに本CFカードを挿入した状態で、スタンバイまたはハイバネーション動作を行うと、お使いの機種によっては、まれに正常に動作しない場合があります。そのような場合には必ず本CFカードを取り外してから、当該動作を行ってください。
- パソコンに本CFカードを挿入した状態で、パソコンの電源の投入や再起動を行うと、お使いの機種によっては、まれに正常に動作しない場合があります。そのような機種をお使いの場合は、パソコンが完全に起動してから本CFカードを取り付けるようにしてください。

免責事項

- 地震や水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社および販売店などは一切の責任を負いません。
- 本CFカードの使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断、トラブル・記録内容の変化消失など)に関して、当社および販売店などは一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社および販売店などは一切の責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組合せによる誤動作などから生じた損害に関して、当社および販売店などは一切の責任を負いません。

もくじ

■ はじめに	1
■ おことわり	2
■ ご利用いただくにあたって	2
■ 安全上のご注意	3
■ EM chip (USIMカード)の取り扱いについて	8
■ 使用上のご注意	9
お取り扱いについて	9
付属ソフトウェアについて	10
通信状態について	10
その他	10
■ 免責事項	11

1

ご使用になる前に

梱包品の確認	16
各部の名前	19
通信方式について	20
表示ランプについて	21
アンテナの操作方法	22
アンテナを立てる	22
アンテナの調整	22
アンテナの収納	23
外部アンテナの使い方	24
外部アンテナの取り付け方	24
外部アンテナの取り外し方	26
EM chip (USIMカード)の使い方	28
EM chip (USIMカード)の取り付け方	28
EM chip (USIMカード)の取り外し方	29
PINコードについて	30
PINコードについて	30
PINロック解除コードについて	30

2

DO1NXの セットアップ

セットアップの流れ	32
DO1NXユーティリティによるセットアップ	
Windows 2000/XP/Vista の場合	33
DO1NXユーティリティのインストール	33
パケット通信最適化	40

<h1>3</h1> <h2>ユーティリティ</h2>	ユーティリティの機能..... 44
	メイン画面の機能..... 44
	メニュー(ツール)画面の機能..... 50
	メニュー(セッティング)画面の機能..... 52
	メニュー(ヘルプ)画面の機能..... 57
	ユーティリティの使用方法..... 58
	ユーティリティを起動する..... 58
	ダイヤルアップ接続を開始する..... 60
	接続を終了する..... 61
	ユーティリティを終了する..... 61
カードを取り外す..... 62	
ヘルプファイルを表示する..... 63	
ユーティリティのアンインストール..... 64	
ユーティリティのアンインストール..... 64	
<h1>4</h1> <h2>困ったときに</h2>	確認してください..... 66
	本CFカードが動作しない場合の確認事項 66
	確認フローチャート..... 68
<h1>5</h1> <h2>付録</h2>	ATコマンドリファレンス 72
	ATコマンドの入力方法例 73
	用語集..... 75
	仕様..... 78
	索引..... 79
	保証とアフターサービスについて..... 80
	保証について..... 80
	修理について..... 80
	補修用部品..... 80
	お問い合わせ先..... 81

1

ご使用になる前に

梱包品の確認	16
各部の名前	19
通信方式について	20
表示ランプについて	21
アンテナの操作方法	22
アンテナを立てる	22
アンテナの調整	22
アンテナの収納	23
外部アンテナの使い方	24
外部アンテナの取り付け方	24
外部アンテナの取り外し方	26
EM chip (USIMカード)の使い方	28
EM chip (USIMカード)の取り付け方	28
EM chip (USIMカード)の取り外し方	29
PINコードについて	30
PINコードについて	30
PINロック解除コードについて	30

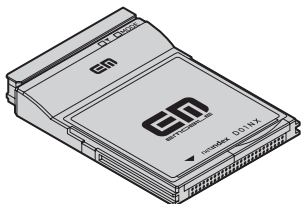
梱包品の確認

お買い上げいただいたパッケージには、次のものが入っていますので、お使いになる前に確認してください。万一、不足しているものがあつた場合は、お買い上げの販売窓口にお問い合わせください。

1

ご使用になる前に

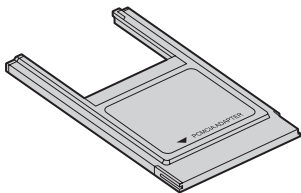
■ 本体



本体…1枚

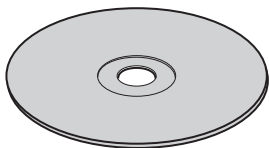
パソコンのPCカードスロット、CFカードスロット(いずれもType II)に挿入して使用します。PCカードスロット挿入時は付属のPCカードアダプタを使用してください。

■ 付属品



PCカードアダプタ…1枚

PCカードスロット挿入時に使用します。



DO1NX用CD-ROM…1枚

CD-ROM内には次のものが入っています。お使いのパソコンに合わせてご使用ください。

◆ パソコン用ユーティリティ関連

- Windows 2000/XP/Vista用 Setup Tool
- Windows 2000/XP/Vista用ユーティリティソフト

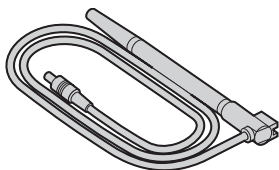
◆ その他

- ATコマンドリファレンス
- Acrobat Reader
- 取扱説明書

確認

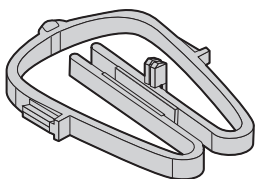
- ソフトウェアの仕様は、予告なく変更する場合があります。インストールする前に、最新のソフトウェアに関する情報をお問い合わせ先ホームページでご確認ください。

■ 付属品



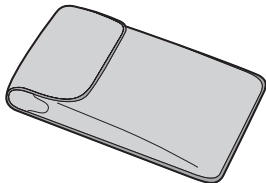
外部アンテナ…1本

本CFカードの外部アンテナ接続端子に接続して
使用します。



外部アンテナホルダー…1個

外部アンテナを固定します。



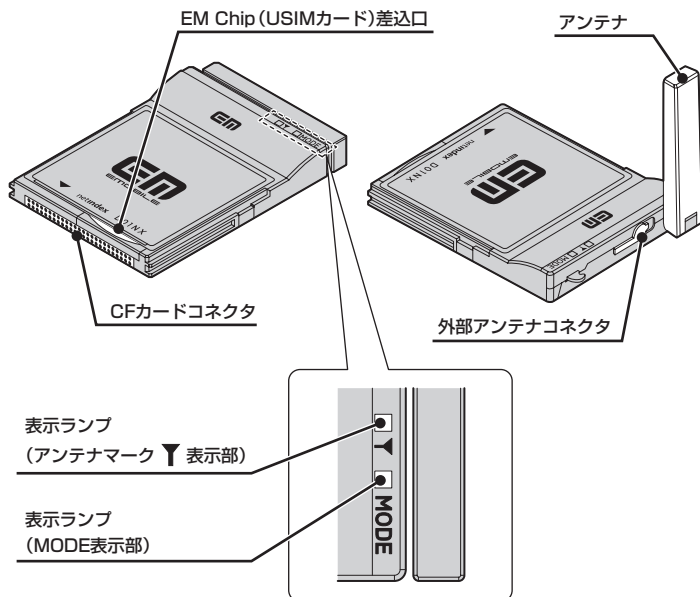
キャリングケース…1個

本CFカードの携帯用ケースです。

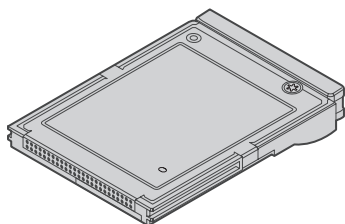
各部の名前

本CFカード本体の各部の名前を以下に示します。

■ CFカード本体 表面



■ CFカード本体 裏面



確認

- 表示ランプについては、21ページ「表示ランプについて」を参照してください。
- アンテナについては、22ページ「アンテナの操作方法」を参照してください。
- 本CFカードをパソコンに挿入する際は、表面が上向きになるよう挿入してください。

1

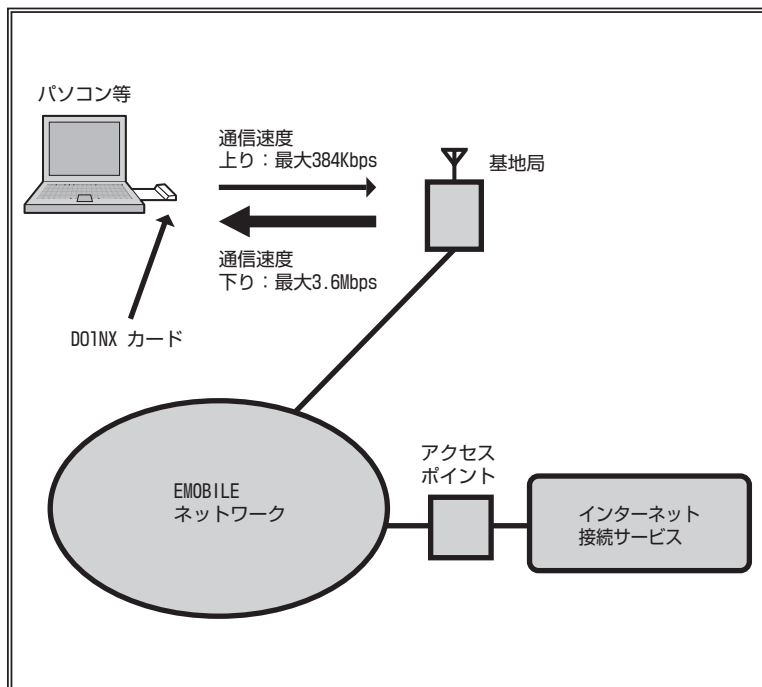
ご使用になる前に

通信方式について

- 本CFカードはHSDPA方式を採用したデータ通信カードです。
HSDPAは、第3世代携帯電話W-CDMA方式のデータ通信を高速化した通信方式です。
- 本CFカードは最大3.6Mbps（受信時）でのパケット通信がご利用できます。
実行速度は、接続するパソコンの種類やお使いになる環境（天候、電波状況やネットワークの混雑状況）により、変化する場合があります。
- 本CFカードは回線交換サービスにサポートしておりません。

1

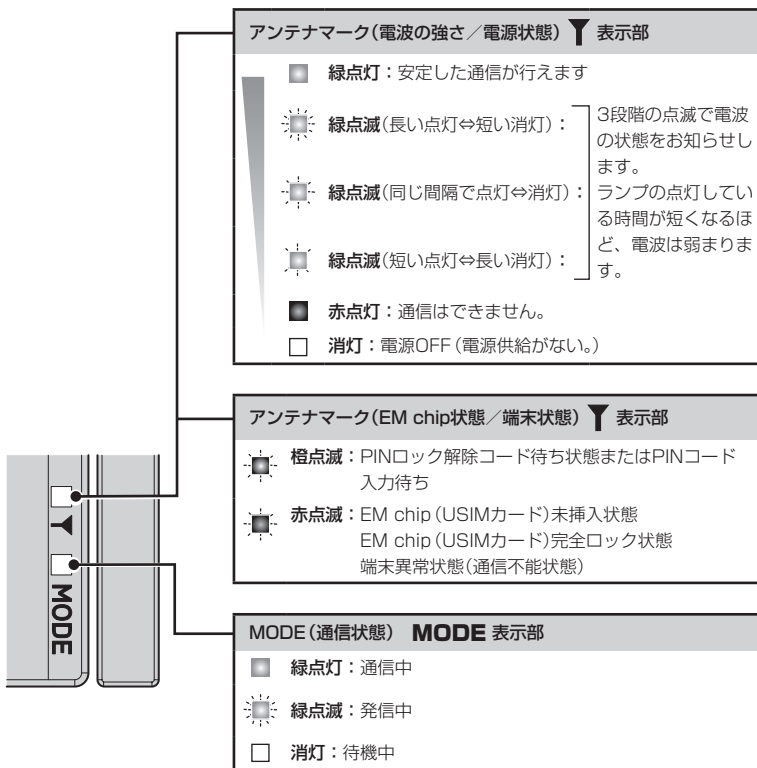
データ通信を始めるにあたり、通信方式をご理解の上、始めていただくことをおすすめします。



ご使用になる前に

表示ランプについて

サービスエリア内の電波状態を5段階表示で、また通信状態の区別をお知らせします。



1

ご使用になる前に

確認

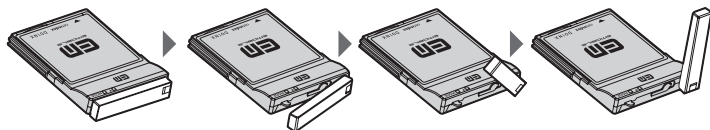
- 本CFカードをパソコンに挿入し電源を投入した際、アンテナマーク側ランプが赤点滅の場合には、一度パソコンより取り外し、EM chip (USIMカード)が本CFカードに挿入されているか確認し、再びパソコンに挿入してください。それでも状態が変わらない場合は、ご契約先の問い合わせ窓口にお問い合わせください。

アンテナの操作方法

本CFカードを使ってデータ通信する前に、アンテナの向きを調整し電波の状態を良好にする必要があります。ここでは、アンテナの正しい操作方法を説明します。

アンテナを立てる

- 1 アンテナの端を軽く指に引っ掛け、本体より少しアンテナが上にくるまで動かします。その後アンテナの先端を軽くつまみ、アンテナが垂直になるように動かします。



アンテナの調整

アンテナの調整については、通信時直接ランプ表示を確認する方法と付属ユーティリティソフトを使用する方法があります。表示ランプの場合は21ページ「表示ランプについて」の説明を参照、ユーティリティソフトの場合にはお使いのパソコンなどに表示される電波状態を参考にしながら、電波が一番強い状態になるよう、アンテナの先端を軽く指でつまみアンテナを動かします。

注意



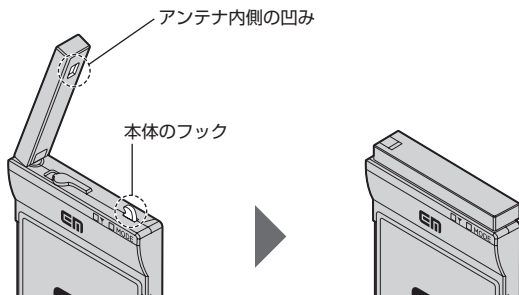
- アンテナの調整を行っても、表示ランプ(▼ アンテナマーク側)が赤点灯のまま変化せず通信ができない場合、電波の届きにくい場所である可能性があります。場所を移動して再度調整してみてください。
- アンテナの可動範囲を超えた操作はしないでください。故障の原因となります。

ヒント

- 付属ユーティリティソフトについては、43ページ「第3章 ユーティリティ」をご参照ください。

アンテナの収納

- 1 アンテナの先端を軽くつまみ、水平になるように動かします。
アンテナを収納する際は、アンテナの先端を軽くつまみ、アンテナ内側の凹みとCFカード本体のフックを合わせて、凹みにフックをはめるようにアンテナをたおして収納してください。



注意



- アンテナを収納する際は、アンテナの先端を持って操作してください。また、無理な力を加えてアンテナを押し込むような行為はしないでください。アンテナが破損する原因になります。

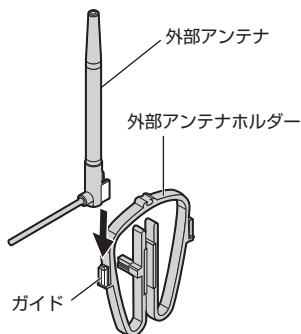
外部アンテナの使い方

電波の状態が弱い場所では、外部アンテナを使用する事により、通信の品質が良くなる場合があります。

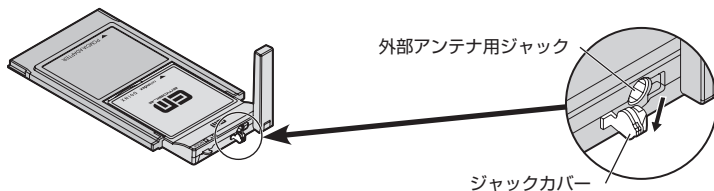
外部アンテナの取り付け方

1

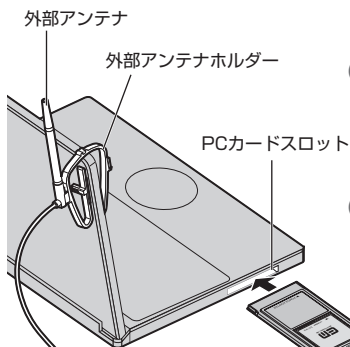
ご使用になる前に



- 1 外部アンテナを外部アンテナホルダーのガイドに合わせて取り付けます。



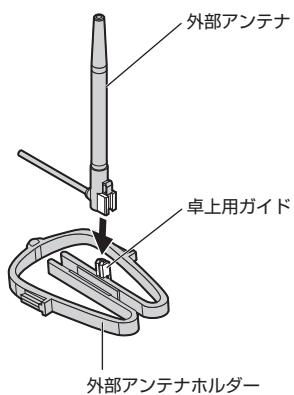
- 2 本CFカードの外部アンテナ用ジャックのジャックカバーを開いてください。



- 3 外部アンテナのプラグをCFカードの外部アンテナ用ジャックに差し込みます。

- 4 外部アンテナホルダーをパソコンに取り付けます。



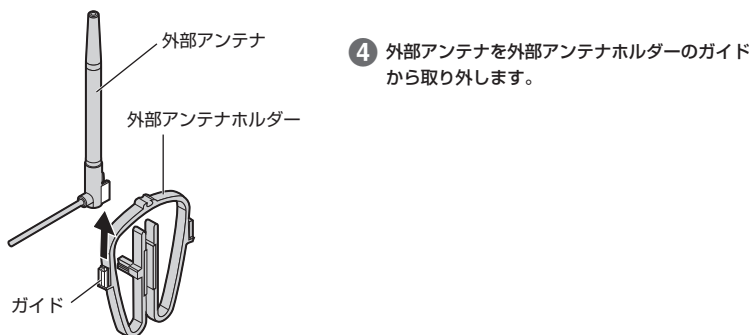
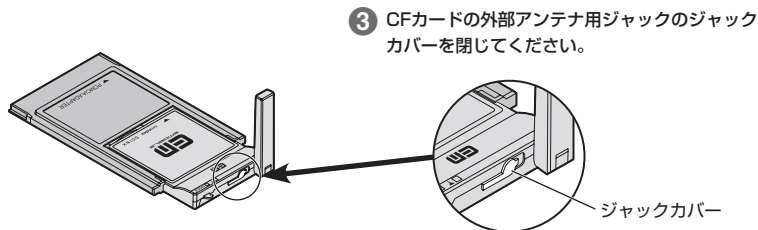
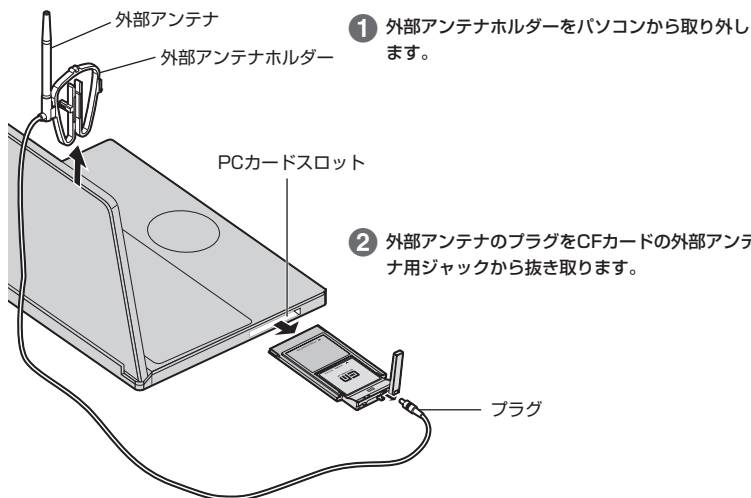


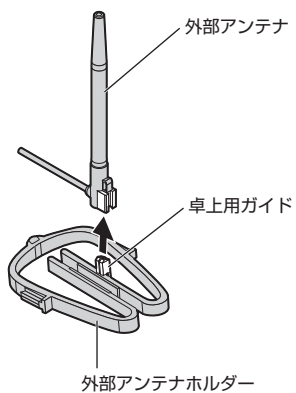
- ⑤ 外部アンテナを外部アンテナホルダーの卓上用ガイドに取り付けければ、外部アンテナを卓上に置いて使用することができます。

外部アンテナの取り外し方

1

ご使用になる前に





- ⑤ 卓上での使用時は、外部アンテナを外部アンテナホルダーの卓上用ガイドから取り外します。

EM chip (USIMカード)の使い方

EM chip (USIMカード)は、電話番号等のお客さまの情報が入っているICカードです。本CFカードのご使用时には、はじめにEM chip (USIMカード)を本CFカードに取り付けてください。

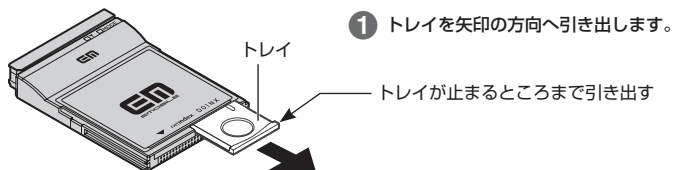


- 本CFカードは、EM chip (USIMカード)を取り付けないと、一切の通信を行えません。

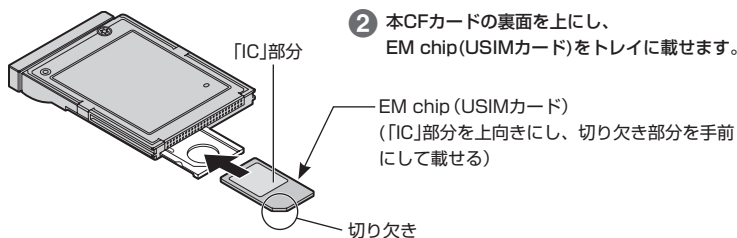
1

ご使用になる前に

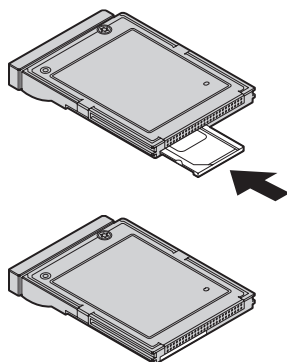
EM chip (USIMカード)の取り付け方



- 1 トレイを矢印の方向へ引き出します。

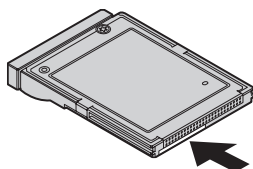
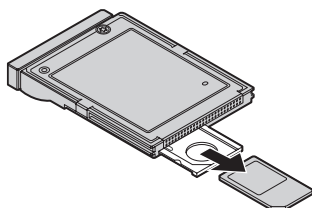
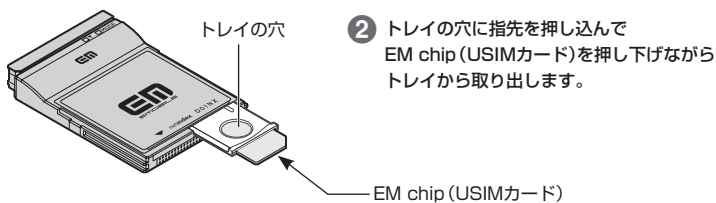
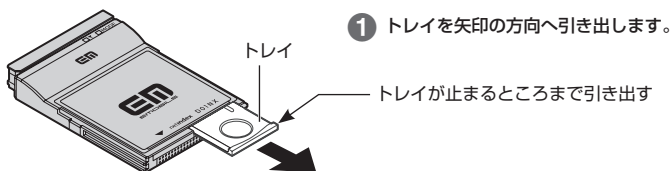


- 2 本CFカードの裏面を上にし、EM chip (USIMカード)をトレイに載せます。



- 3 トレイを奥の方向へ確実に押し込みます。

EM chip (USIMカード)の取り外し方



注意



- 無理に取り付けまたは取り外しを行おうとすると、EM chip (USIMカード)が壊れることがありますのでご注意ください。
- EM chip (USIMカード)の取り付け、または取り外しを行うときは、ICチップ部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- EM chip (USIMカード)を取り出したときは、紛失しないようにご注意ください。
- トレイをあまり強く引くと抜ける場合がありますので、ご注意ください。

PINコードについて

PINコードについて

EM chip (USIMカード)には、「PINコード」と言われる暗証番号を設定することができます。この暗証番号は、EM chip (USIMカード)のPIN認証設定を「PIN認証あり」にした際に入力する必要があります。

お買い上げ時のEM chip (USIMカード)は、「PIN認証なし」、PINコード「9999」に設定されています。

PIN認証設定およびPINコードの変更は、付属のDO1NXユーティリティを使用して変更することができます。

(第3章「ユーティリティ」※43ページ参照)

PINロック解除コードについて

PINコードの入力を3回連続して間違った場合、現在のPINコードが無効となり、入力が受け付けられなくなります(PINロック状態)。この場合、PINロック解除コード(PUKコード)を入力しPINロック状態を解除して、新しいPINコードを設定する必要があります。

PINロック解除コードの入力が必要となった場合、ご契約先の問い合わせ窓口までご連絡ください。ご連絡を頂いた際は、契約者ご本人さまであることを確認させていただきますので、あらかじめご了承ください。

注意



- PINロック解除コードの入力を10回連続で間違った場合、PINロック解除コード(PUKコード)が無効となり、入力が受け付けられなくなります(完全ロック状態)。完全ロック状態となった場合は、所定の手続きが必要となります。ご契約先の問い合わせ窓口までご連絡ください。
- PINコードはメモをとるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。
- DO1NXユーティリティを使用せずに、手動でセットアップされた場合は、PINコード認証設定やPINコードの変更を行うことができません。また、PINコード認証ありに設定してある場合は、ダイヤルアップ接続ができません。設定を行った環境にて設定を変更し、ダイヤルアップ接続を行ってください。

DO1NXの セットアップ

セットアップの流れ.....	32
DO1NXユーティリティによるセットアップ	
Windows 2000/XP/Vista の場合	33
DO1NXユーティリティのインストール.....	33
パケット通信最適化.....	40

セットアップの流れ

本CFカードを使ってデータ通信を行うには、付属D01NX用CD-ROMのSetup Toolを使用し、D01NXユーティリティおよびドライバをインストールする必要があります。
ここでは、Setup Toolを使用したD01NXユーティリティのインストール手順とインターネットに接続するまでの流れを図で説明しています。この手順に従って、設定を行ってください。

D01NXユーティリティの動作環境は次のとおりです。

(1)対応OS

- Windows 2000 Professional Service Pack 4以降(日本語版)
- Windows XP Professional/Home Edition Service Pack 1以降(日本語版)
- Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate
(日本語版)

(2)対応パーソナルコンピュータ

- 本体 : 上記対応OSが正常に動作しているパーソナルコンピュータ
- CPU : Intel Pentium/Celeronファミリ 1GHz相当以上
- メモリ : 256MB(推奨512MB以上)
- HDD : 650MB以上の空き容量
- その他 : 256色以上表示可能な画面環境

確認

- ソフトウェアの仕様は、予告なく変更する場合があります。
インストールする前に、最新のソフトウェアに関する情報をお問い合わせ先ホームページでご確認ください。

DO1NXユーティリティによるセットアップ Windows 2000/XP/Vista の場合

DO1NXユーティリティのインストール

- 1 パソコンの電源を入れます。
- 2 OS起動後にパソコンに付属CD-ROMを挿入します。
- 3 自動的に下記のメニューが表示されるので「DO1NXセットアップ(推奨)」をクリックしてください。

DO1NXユーティリティのインストールプログラムが起動します。

- インストールプログラムが自動的に起動されない場合は、マイコンピュータの画面などから、CD-ROMドライブをクリックし、「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

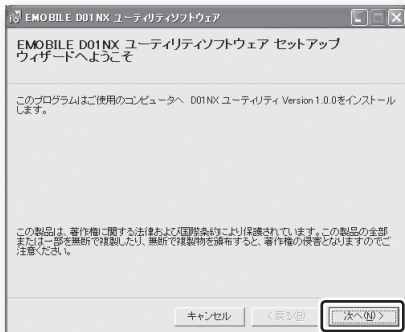


注意

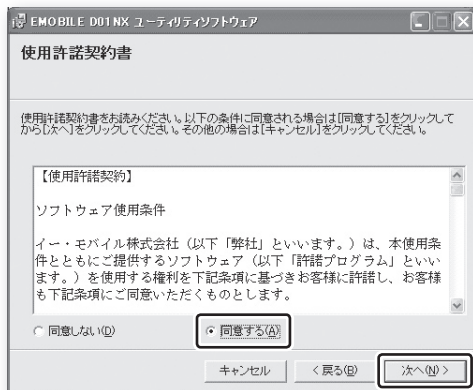


- インストールを行う場合は、管理者権限のユーザーでログインし、インストールしてください。
- インストールが終了するまでは、本CFカードをパソコンに挿入しないでください。

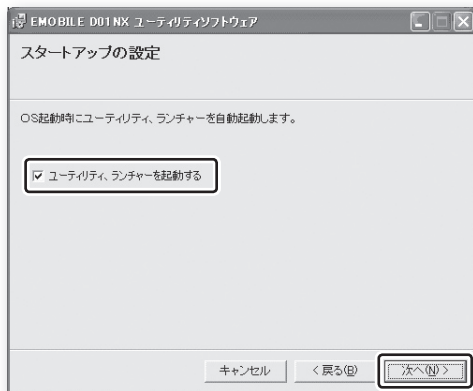
- 4 ユーティリティのインストール画面が表示されますので、「次へ」ボタンをクリックします。



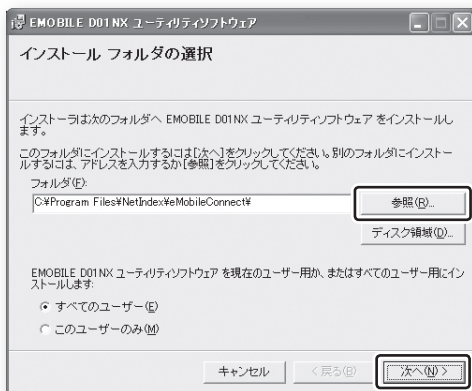
- 5 [使用許諾契約書]画面が表示されます。【使用許諾契約】の内容をお読み頂き、「同意する」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。



- 6 [スタートアップの設定]画面が表示されます。OS起動時にユーティリティを起動する場合は、「ユーティリティ、ランチャーを起動する」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックします。

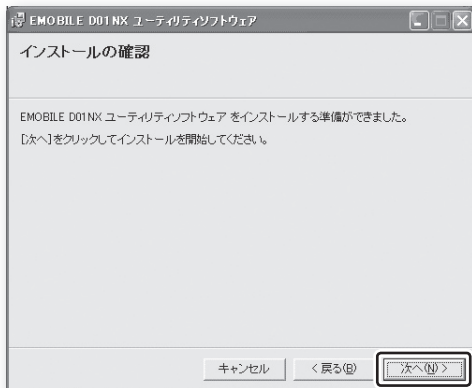


- 7 [インストール フォルダの選択]画面が表示されます。フォルダを変更される場合は、「参照」ボタンをクリックし、フォルダを選択してください。フォルダを設定したら、「次へ」ボタンをクリックします。

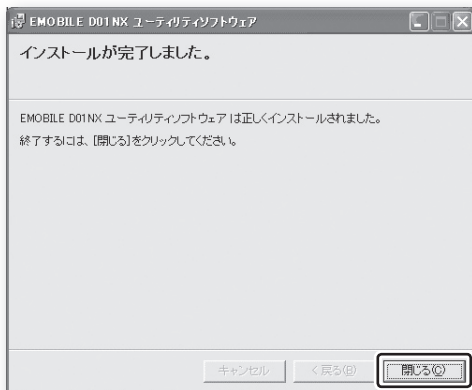
**注意**

- Windows Vistaへインストールを行う場合、インストール先の変更は行わないでください。設定データのマルチユーザーに関する動作が変わる場合がございます。

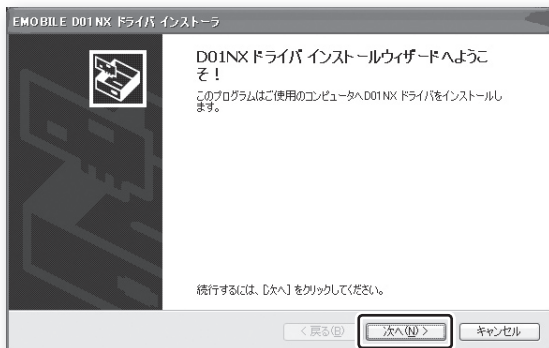
- 8 [インストールの確認]画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。



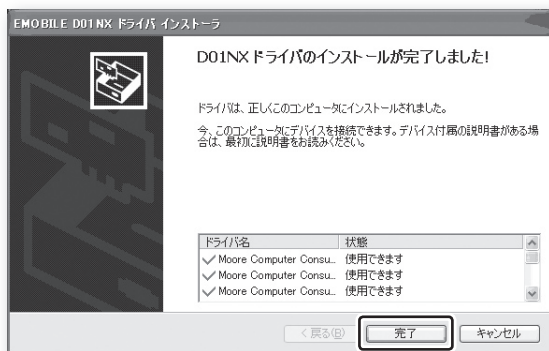
- 9 ユーティリティのインストールが終了すると[インストールが完了しました。]画面が表示されます。「閉じる」ボタンをクリックし、ユーティリティのインストールを終了します。



- 10 続いてドライバのインストール画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。

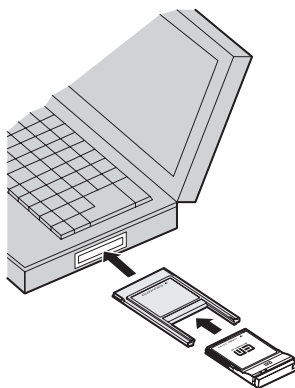


- 11 ドライバのインストールが終了すると次の画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックし、インストールを終了します。



- 12 インストールが終了次第、EM chip (USIMカード)が本CFカードに挿入されていることを確認し、本CFカードをお使いのパソコンにセットしてください。自動的にカードの認識が開始されます。

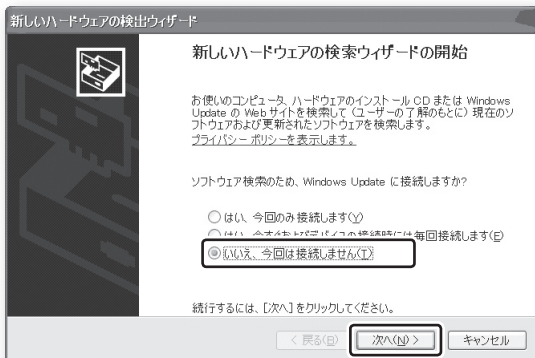
- PCカードスロットに挿入する場合は、本CFカードの表面を付属のPCカードアダプタの表面に合わせて確実に挿入した状態で、パソコンのPCカードスロットに挿入します。
- CFカードスロットに挿入する場合は、付属のPCカードアダプタは必要ありません。



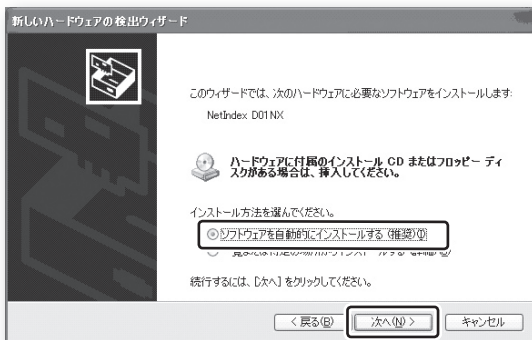
確認

- お使いのパソコンにより、カードの自動認識の際に、以下の画面が表示される場合があります。その場合は、下記手順に従い、セットアップを行ってください。

- 13 [新しいハードウェアの検索ウィザードの開始]画面が表示されます。
「いいえ、今回は接続しません」をチェックして「次へ」ボタンをクリックしてください。



- 14 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」にチェックし、「次へ」ボタンをクリックしてください。



- 15 インストールの完了画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。



- 16 続いて、モデム、およびシリアルポートのインストールが始まります。15から16の手順を3回繰り返してください。
- 17 カードの認識が終了し、ユーティリティを起動すると、本CFカードを使用してデータ通信が可能となります。
ユーティリティの起動方法やユーティリティを使用したインターネット接続方法、各種機能については、43ページ「第3章 ユーティリティ」を参照してください。

確認

- 本CFカードの通信性能を最大限に活用するためには、お使いのパソコンの通信機能を最適化することを推奨いたします。
引き続き40ページに進み、最適化手順を実行してください。

パケット通信最適化

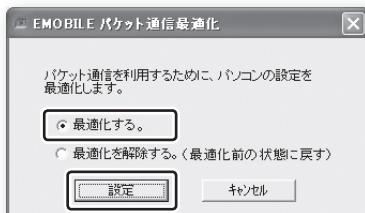
本CFカードの通信性能を最大限に活用するためには、お使いのパソコンの通信設定を最適化する必要があります。

次の手順で、パソコンの通信設定を最適化できます。(最適化を強く推奨)

- 1 パソコンに付属CD-ROMを挿入します。
- 2 自動的に下記のメニューが表示されるので「パケット通信最適化」ボタンをクリックしてください。
最適化プログラムが起動します。
 - インストールプログラムが自動的に起動されない場合は、マイコンピュータの画面などから、CD-ROMドライブをクリックし、「Setup.exe」をダブルクリックしてください。



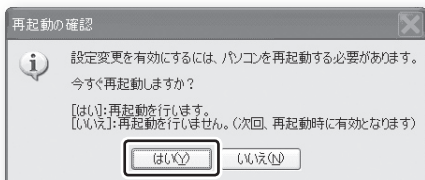
- 3 「最適化する。」をチェックし、「設定」ボタンをクリックします。



- 4 設定終了後、次の画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



- 5 設定を有効にするには、お使いのパソコンを再起動する必要がありますので、次の画面が表示されましたら、「はい」ボタンをクリックします。



- 6 パソコンが再起動され、設定が有効になります。
これでDO1NXのセットアップが完了しました。ユーティリティの起動方法やユーティリティを使用したインターネット接続方法、各種機能については、43ページ「第3章 ユーティリティ」を参照してください。

ユーティリティ

ユーティリティの機能	44
メイン画面の機能.....	44
メニュー(ツール)画面の機能.....	50
メニュー(セッティング)画面の機能.....	52
メニュー(ヘルプ)画面の機能.....	57
ユーティリティの使用方法	58
ユーティリティを起動する.....	58
ダイヤルアップ接続を開始する.....	60
接続を終了する.....	61
ユーティリティを終了する.....	61
カードを取り外す.....	62
ヘルプファイルを表示する.....	63
ユーティリティのアンインストール	64
ユーティリティのアンインストール.....	64

ユーティリティの機能

D01NXユーティリティを使用することでデータ通信、本CFカードに対する電波状況の確認等が行えます。

また、D01NXユーティリティは、メイン画面、メニュー(ツール)画面、メニュー(セッティング)画面、メニュー(ヘルプ)画面の4つの画面で構成されており、各画面で様々な機能がご利用頂けます。

ここでは、本ユーティリティの各画面の機能、使用方法について説明します。

3

確認

- D01NXユーティリティは、以下のOSに対応しております。
 - ・ Windows 2000 Professional Service Pack 4以降(日本語版)
 - ・ Windows XP Professional/Home Edition Service Pack 1以降(日本語版)
 - ・ Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate(日本語版)
- 本ユーティリティはマルチユーザー機能に対応していないため、各ユーザーの通信履歴は合算されます。

ユーティリティ

メイン画面の機能

(1)ダイヤルアップ接続機能

D01NXユーティリティからダイヤルアップ接続を開始します。





■ 接続/切断ボタン

ダイヤルアップ未接続状態の時は、『接続』ボタンを表示します。

この時に『接続』ボタンをクリックすると、『接続先 (APN) 選択リスト』で選択した接続先にダイヤルアップ接続し、パケット通信を開始します。

また、ダイヤルアップ接続状態の時は、『切断』ボタンを表示します。

この時に、『切断』ボタンをクリックすると、パケット通信を切断します。

アイコン	説明
 接続	未接続状態からダイヤルアップ接続を行うアイコンです。
 切断	接続状態から切断を行うアイコンです。

パケット通信を行うには接続先(APN)の設定をする必要があります。パケット通信の接続先には、通常の電話番号は使用致しません。あらかじめ接続先ごとに本CFカードにAPN (Access Point Name)と呼ばれる接続先名を登録して、その登録番号(cid)を接続先電話番号として接続を行います。

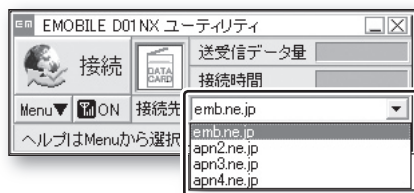
お買い上げ時、登録番号1(cid 1)には、イー・モバイルが提供するインターネット接続サービスの接続先「emb.ne.jp」が本CFカードに登録されています。本接続サービスを使用する場合は、接続先(APN)の設定は不要です。

ユーザー名	em
パスワード	em
DNSサーバアドレス	指定無し
IPアドレス	指定無し

新たに登録を行う場合は、プロバイダより入手した接続先(APN)、ユーザー名、パスワード等を手元に控え、ユーティリティの接続先(APN)設定機能を使用してください。

■ 接続先(APN)選択リスト

本CFカードに設定されているAPN名、または手動でセットアップした場合のダイヤルアップ接続名を表示します。ダイヤルアップ未接続状態のとき、「▼」をクリックすると、接続先(APN)のリストが表示され、選択することができます。

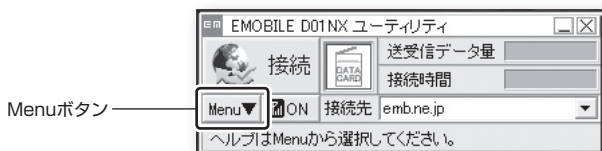


確認

- お買い上げ時は、イー・モバイルが提供するインターネット接続サービスの接続先「emb.ne.jp」のみ設定されています。

(2)メニュー画面表示機能

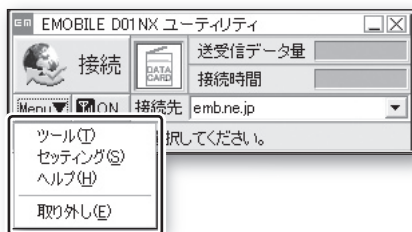
各種設定等を行うメニュー画面を表示します。



■ Menuボタン

「Menu」ボタンをクリックすると、メニュー項目を表示します。

表示されたメニュー項目を選択すると、それぞれ選択した画面を表示します。



項目	内容
ツール	メニュー(ツール)画面を表示します。(※50ページ参照)
セッティング	メニュー(セッティング)画面を表示します。(※52ページ参照)
ヘルプ	メニュー(ヘルプ)画面を表示します。(※57ページ参照)
取り外し	本CFカードの取り外しを行います。 (取り外しの確認メッセージを表示します。)

(3) DO1NX状態表示機能

本CFカードの動作状態をアイコンで表示します。

DO1NX状態表示アイコン



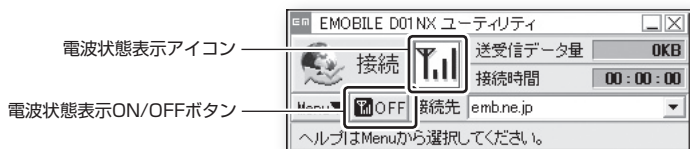
アイコン	DO1NX状態	内容
	DO1NX未挿入状態	本CFカードがパソコンに挿入されていない状態を示すアイコンです。
	EM chip (USIMカード) 未挿入状態	本CFカードはパソコンに挿入されているが、EM chip (USIMカード)が本CFカードに挿入されていない状態を示すアイコンです。
	EM chip (USIMカード) PINコード入力待ち状態	本CFカードに挿入されているEM chip (USIMカード)がPIN入力待ち状態である事を示すアイコンです。 PIN認証をキャンセルした場合に、表示されます。
	EM chip (USIMカード) PINロック解除コード入力待ち状態	本CFカードに挿入されているEM chip (USIMカード)がPINロックされている状態を示すアイコンです。
	EM chip (USIMカード) 完全ロック状態	本CFカードに挿入されているEM chip (USIMカード)が完全ロックされている状態を示すアイコンです。
	ダイヤルアップ未接続状態	ダイヤルアップ接続前の状態を示すアイコンです。
	ダイヤルアップ接続状態	ダイヤルアップ接続中の状態を示すアイコンです。

確認

- 電波状態表示中は、DO1NX状態表示はされません。電波状態表示終了後、再び表示を行います。

(4)電波状態表示機能

本CFカードに対する電波状態をアイコンで表示します。



■電波状態表示ON/OFFボタン

電波状態表示OFF状態のとき、「ON」ボタンを表示します。このとき「ON」ボタンをクリックすると、電波状態表示を開始します。電波状態表示は以下の5段階のアイコンで表示されます。

アイコン	状態
	圏外状態です。 接続できません。
	微弱状態です。
	弱状態です。
	中状態です。
	強状態です。

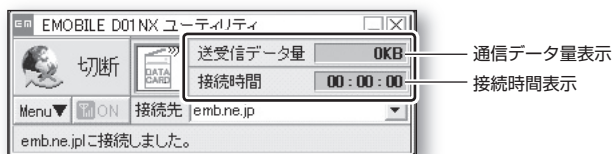
アイコン	内容
	電波状態表示OFF状態を示し、電波状態を表示させるアイコンです。
	電波状態表示ON状態を示し、電波状態の表示を中止させるアイコンです。

確認

- 電波状態表示ON状態時は、ユーティリティ以外からのダイヤルアップ接続ができなくなります。ダイヤルアップ接続を行う場合は、ユーティリティからダイヤルアップ接続を行うか、電波状態表示をOFFにして、ダイヤルアップ接続を行ってください。

(5)通信データ量／通信時間表示機能

ダイヤルアップで接続している間の通信データ量(送受信データ量)、通信時間を表示します。



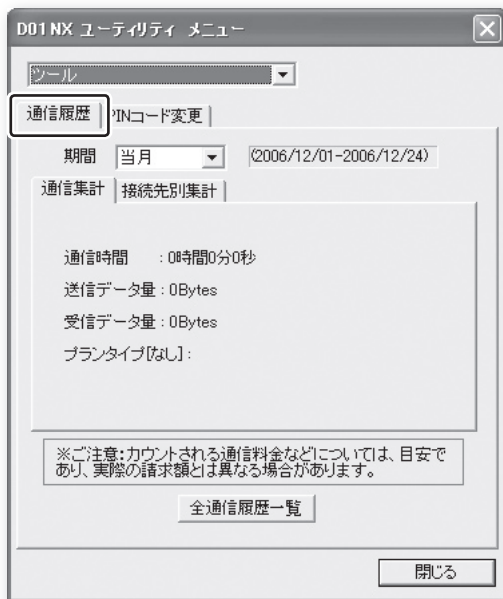
■ 通信データ量／通信時間表示

- **送受信データ量** : 現状のデータ通信量(送信・受信の合計)を表示します。単位はKBです。
- **接続時間** : 現在までの接続時間を表示します。

メニュー(ツール)画面の機能

(1)通信履歴表示機能

ご利用になった過去の通信履歴を表示します。



3

ユーティリティ

確認

- 本機能の詳細な説明、使用方法については、63ページ「ヘルプファイルを表示する」を参照し、ヘルプファイルを開き、ご確認ください。
- 履歴表示機能は、履歴件数が多くなるに従い、動作が遅くなる場合があります。不要な履歴は削除して頂くことを推奨いたします。
- 履歴表示機能で表示される通信料金はあくまでも目安であり、実際の請求額とは異なる場合があります。

(2) PINコード変更機能

EM chip (USIMカード)のPINコードを変更します。

D01 NX ユーティリティ メニュー

ツール

通信履歴 **PINコード変更**

入力可能残数: 3回

現在のPINコード

新しいPINコード

新しいPINコードの確認

変更

※ご注意:本機能は、EM chip(USIMカード)が「PIN認証設定あり」の場合に、ご利用可能です。

閉じる

確認

- 本機能の詳細な説明、使用方法については、63ページ「ヘルプファイルを表示する」を参照し、ヘルプファイルを開き、ご確認ください。
- 本機能は、EM chip (USIMカード)が「PIN認証設定あり」の場合に、ご利用可能です。

注意

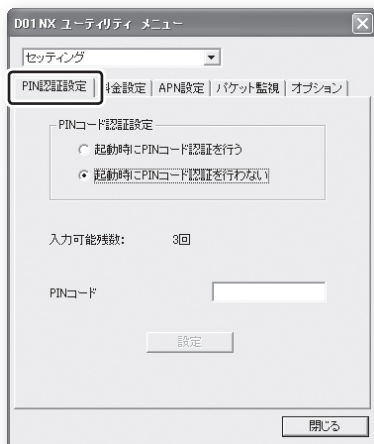


- PINコードの入力を3回連続して間違った場合、現在のPINコードが無効となり、入力が受け付けられなくなります (PINロック状態)。この場合、PINロック解除コード (PUKコード)を入力しPINロック状態を解除して、新しいPINコードを設定する必要があります。PINロック解除コードの入力が必要となった場合、ご契約先の問い合わせ窓口までご連絡ください。ご連絡を頂いた際は、契約者ご本人さまであることをご確認させていただきますので、あらかじめご了承ください。
- PINロック解除コードの入力を10回連続で間違った場合、PINロック解除コード (PUKコード)が無効となり、入力が受け付けられなくなります (完全ロック状態)。完全ロック状態となった場合は、所定の手続きが必要となります。ご契約先の問い合わせ窓口までご連絡ください。
- PINコードはメモをとるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。

メニュー(セッティング)画面の機能

(1) PINコード認証設定機能

EM chip (USIMカード)のPINコード認証に関する動作を設定します。



3

ユーティリティ

確認

- 本機能の詳細な説明、使用方法については、63ページ「ヘルプファイルを表示する」を参照し、ヘルプファイルを開き、ご確認ください。
- お買い上げ時は、EM chip (USIMカード)のPINコード認証設定は、「PINコード認証を行わない」に設定されております。
- PINコード認証設定を「起動時にPINコード認証を行う」に設定した場合、次回本CFカードの取り外し時、または、パソコン再起動時まで有効となりませんので、セキュリティに不安のある方は、お使いのパソコンのセキュリティロックを設定することを推奨いたします。

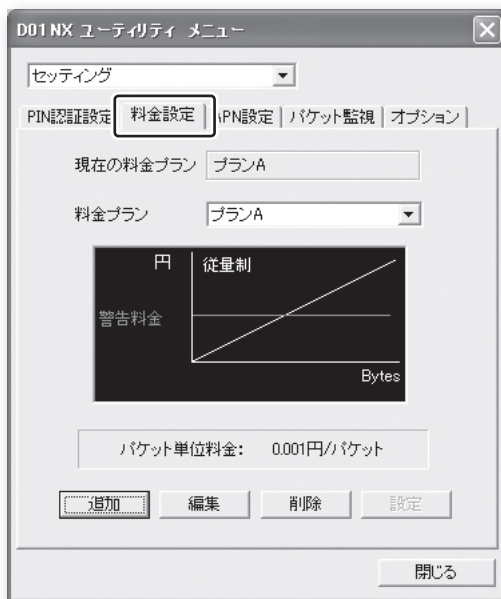
注意



- PINコードの入力を3回連続して間違った場合、現在のPINコードが無効となり、入力が受け付けられなくなります(PINロック状態)。この場合、PINロック解除コード(PUKコード)を入力しPINロック状態を解除して、新しいPINコードを設定する必要があります。PINロック解除コードの入力が必要となった場合、ご契約先の問い合わせ窓口までご連絡ください。ご連絡を頂いた際は、契約者ご本人さまであることをご確認させていただきますので、あらかじめご了承ください。
- PINロック解除コードの入力を10回連続で間違った場合、PINロック解除コード(PUKコード)が無効となり、入力が受け付けられなくなります(完全ロック状態)。完全ロック状態となった場合は、所定の手続きが必要となります。ご契約先の問い合わせ窓口までご連絡ください。
- PINコードはメモをとるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。

(2) 料金設定機能

ダイヤルアップ接続時の通信料金を設定します。

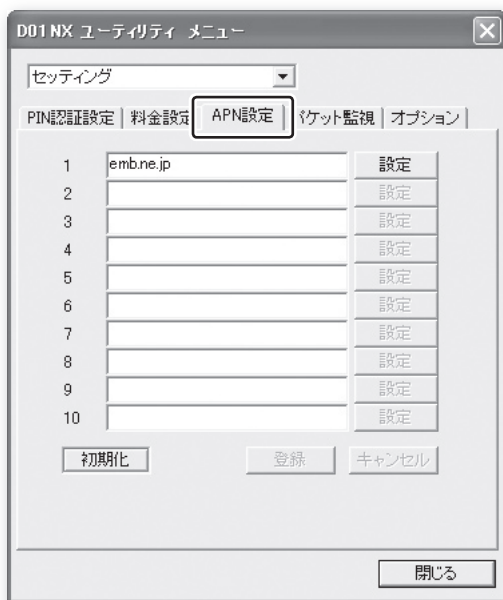


確認

- 本機能の詳細な説明、使用方法については、63ページ「ヘルプファイルを表示する」を参照し、ヘルプファイルを開き、ご確認ください。
- お買い上げ時は、料金設定されておりません。ご契約のプランに従い、料金設定を行ってください。

(3)接続先(APN)設定機能

ダイヤルアップによってインターネットに接続を行うための接続先(APN)を設定します。



3

ユーティリティ

確認

- 本機能の詳細な説明、使用方法については、63ページ「ヘルプファイルを表示する」を参照し、ヘルプファイルを開き、ご確認ください。
- お買い上げ時は、イー・モバイルが提供するインターネット接続サービスの接続先「emb.ne.jp」が登録されております。

(4) パケット監視設定機能

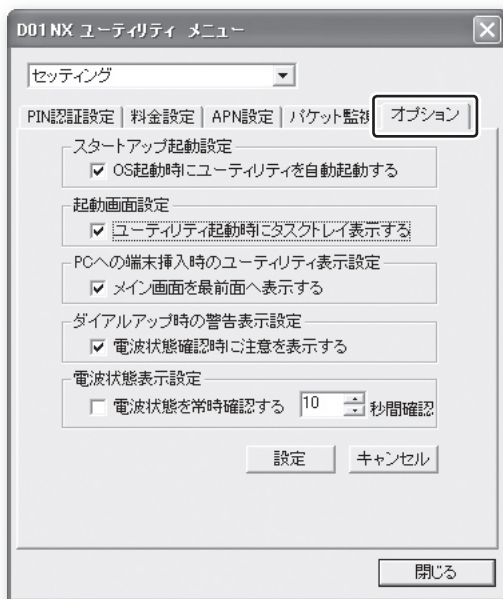
お使いのパソコンで、ユーティリティを使用せずに、OSの機能を用いてダイヤルアップ接続先を作成した場合に、そのダイヤルアップ接続先をパケット監視「行う／行わない」の設定をします。

**確認**

- 本機能の詳細な説明、使用方法については、63ページ「ヘルプファイルを表示する」を参照し、ヘルプファイルを開き、ご確認ください。

(5) オプション設定機能

ユーティリティの各動作に関する設定をします。



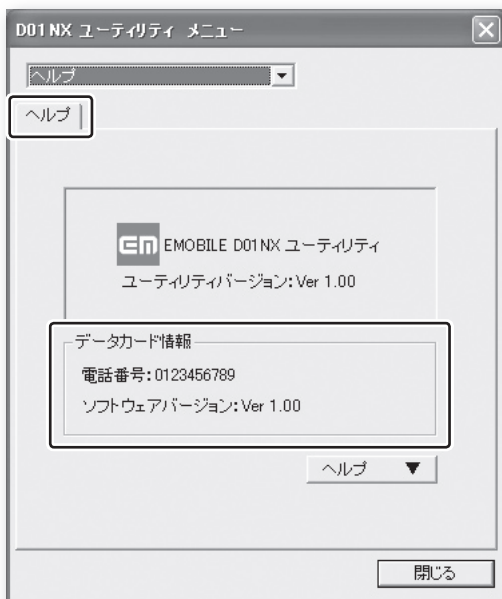
確認

- 本機能の詳細な説明、使用方法については、63ページ「ヘルプファイルを表示する」を参照し、ヘルプファイルを開き、ご確認ください。

メニュー(ヘルプ)画面の機能

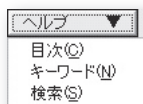
(1) D01NX情報表示機能

本CFカードのバージョンと、EM chip (USIMカード)に登録されている電話番号を表示します。



(2) ヘルプ表示機能

D01NXユーティリティの詳細な使用方法が記載されているヘルプファイルを表示します。



項目	内容
目次	ヘルプの目次画面を表示します。
キーワード	ヘルプのキーワード入力画面を表示します。
検索	ヘルプの検索画面を表示します。

ユーティリティの使用法

ここでは、ユーティリティの使用法について説明します。

確認

- ここに記載されていない機能については、63ページ「ヘルプファイルを表示する」でヘルプファイルを開き、ご確認ください。

ユーティリティを起動する

ユーティリティをインストール後、お使いのパソコンのデスクトップ画面に、下記ショートカットアイコンが作成されております。下記ショートカットアイコンをダブルクリックすることでユーティリティが起動します。



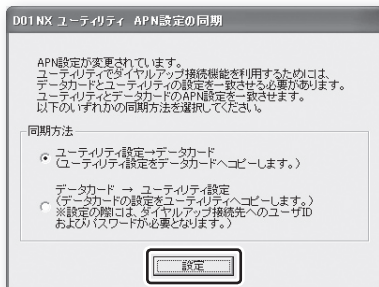
また、タスクトレイに表示されている下記アイコンをダブルクリックすることでユーティリティが起動します。



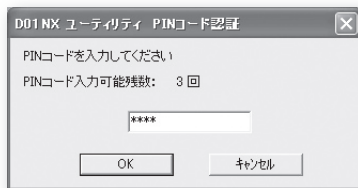
確認

- 上記以外の方法で、DO1NXユーティリティを起動するには、スタートメニューからプログラムメニューを開き、「NetIndex」フォルダ内の「EMOBILE DO1NXユーティリティ」アイコンをクリックしてください。メイン画面が表示されます。

※ユーティリティ初回起動時(インストール直後)、下記の画面が表示されます。「設定」ボタンをクリックして次の画面へ進み、「OK」ボタンをクリックして設定を行ってください。



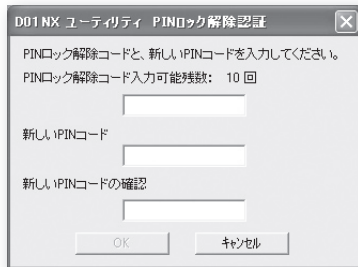
※ユーティリティ起動時にEM chip (USIMカード)が「PINコード認証あり」になっている場合、PINコード認証画面が表示されますので、PINコードを入力してください。
(PINコードは、4桁から8桁の半角数字を入力します)



確認

- お買い上げ時は、「PINコード認証なし」に設定されておりますので、本画面は表示されません。
- お買い上げ時のEM chip (USIMカード) PINコードは「9999」に設定されております。

- また、ユーティリティ起動時にEM chip (USIMカード)がPINロック状態になっている場合、PINロック解除画面が表示されますので、PINロック解除コード(PUKコード)と新しいPINコードを入力してください。
(PINロック解除コードは、8桁の半角数字を入力します。新しいPINコードは、4桁から8桁の半角数字を入力します)



注意



- PINコードの入力を3回連続して間違った場合、現在のPINコードが無効となり、入力が受け付けられなくなります(PINロック状態)。この場合、PINロック解除コード(PUKコード)を入力しPINロック状態を解除して、新しいPINコードを設定する必要があります。PINロック解除コードの入力が必要となった場合、ご契約先の問い合わせ窓口までご連絡ください。ご連絡を頂いた際は、契約者ご本人さまであることをご確認させていただきますので、あらかじめご了承ください。
- PINコードはメモをとるなどして、お忘れにならないようご注意ください。
- PINロック解除コードの入力を10回連続で間違った場合、PINロック解除コード(PUKコード)が無効となり、入力が受け付けられなくなります(完全ロック状態)。完全ロック状態となった場合は、所定の手続きが必要となります。ご契約先の問い合わせ窓口までご連絡ください。

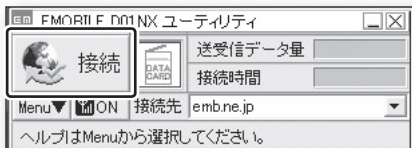
ダイヤルアップ接続を開始する

パケット通信を行い、インターネットなどをご利用になるには接続先(APN)の設定をする必要があります。

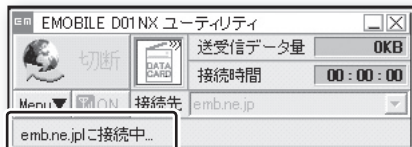
お買い上げ時、イー・モバイルが提供するインターネット接続サービスの接続先「emb.ne.jp」が本CFカードに登録されております。本サービスを使用する場合は、接続先(APN)の設定は不要です。

接続先として本サービスを使用する場合は、「接続」ボタンをクリックすることで、接続を開始します。(インターネットに接続する場合は、接続が開始されてからパソコンのブラウザを起動してください。)

1 「接続」ボタンをクリックします。



2 接続中の表示がされます。



3 接続が完了すると、「送受信データ量」「接続時間」が更新されていきます。



接続を終了する

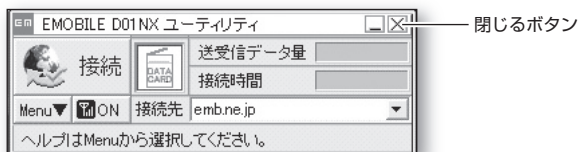
- 1 「切断」ボタンをクリックします。



- 2 確認画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックし、接続を終了します。

ユーティリティを終了する

ユーティリティのメイン画面で「閉じる」ボタンをクリックしてください。
終了の確認メッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックし、ユーティリティを終了します。

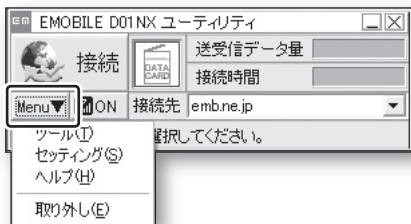


カードを取り外す

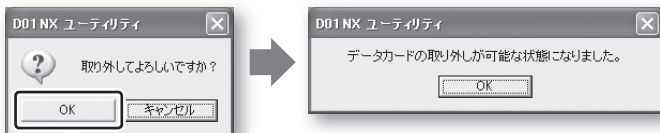
本CFカードの取り外しは次の手順で行います。

1 メイン画面の「Menu」ボタンをクリックします。

Menuの項目が表示されます。



2 「取り外し(E)」を選択しクリックすると、取り外しの確認メッセージが表示されますので、取り外しを行う場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。取り外しが可能な状態になります。



確認

- 本CFカードはパソコンに挿入すると通信していなくても電力を消費します。通信しない時は、できるだけ本CFカードをパソコンより取り出してください。

注意

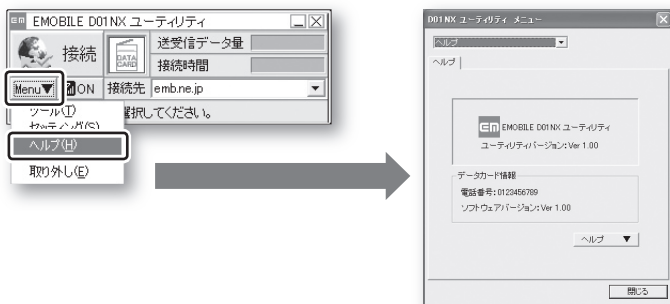


- 取り外し機能を使用せずに本CFカードをパソコンから取り外すと、故障の原因となります。取り外しの際は、必ず取り外し機能を使用してから本CFカードをパソコンから取り外してください。

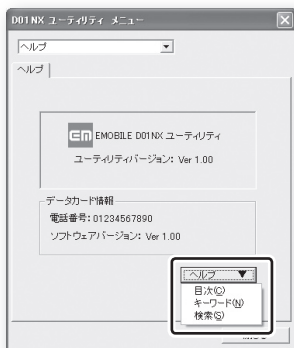
ヘルプファイルを表示する

ユーティリティの詳細な機能の説明、使用方法が記述されているヘルプファイルを表示します。ユーティリティをご使用の際に使い方において不明点がありましたら、まずはヘルプファイルをご確認ください。ヘルプファイルは次の手順で表示します。

- 1 メイン画面の「Menu」ボタンをクリックします。
Menuの項目が表示されますので、「ヘルプ(H)」を選択しクリックします。
ヘルプ画面が表示されます。



- 2 「ヘルプ ▼」ボタンをクリックすると、メニューが表示されます。
各項目を選択し、クリックすることで、ヘルプファイルが表示されます。



項目	内容
目次	ヘルプの目次画面を表示します。
キーワード	ヘルプのキーワード入力画面を表示します。
検索	ヘルプの検索画面を表示します。

ユーティリティのアンインストール

ユーティリティのアンインストール

次の手順で、ユーティリティをアンインストールします。

- 1 「スタート」→「コントロールパネル」を開き、コントロールパネルにある「プログラムの追加と削除」をダブルクリックします。
(上記はWindows XPの場合です。Windows 2000では、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」、Windows Vistaでは、「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムと機能」になります)
- 2 プログラムの追加と削除画面から「EMOBILE DO1NXユーティリティソフトウェア」を選択し、「変更と削除」ボタンをクリックするとアンインストールの確認画面が表示されます。
(上記はWindows XPの場合です。Windows 2000では「アプリケーションの追加と削除」になります。Windows Vistaでは「プログラムと機能」となり、「EMOBILE DO1NX ユーティリティソフトウェア」を選択し、ダブルクリックするとアンインストールの確認画面が表示されます。)
- 3 アンインストールを継続する場合は、「はい」ボタンをクリックするとアンインストールが始まります。
- 4 「アンインストールが完了しましたが以下の項目が削除できませんでした。」とメッセージが表示された場合は、「OK」ボタンをクリックして、削除できなかったフォルダを手動で削除してください。

4

困ったときに

確認してください.....	66
本CFカードが動作しない場合の確認事項	66
確認フローチャート.....	68

確認してください

本CFカードが動作しない場合の確認事項

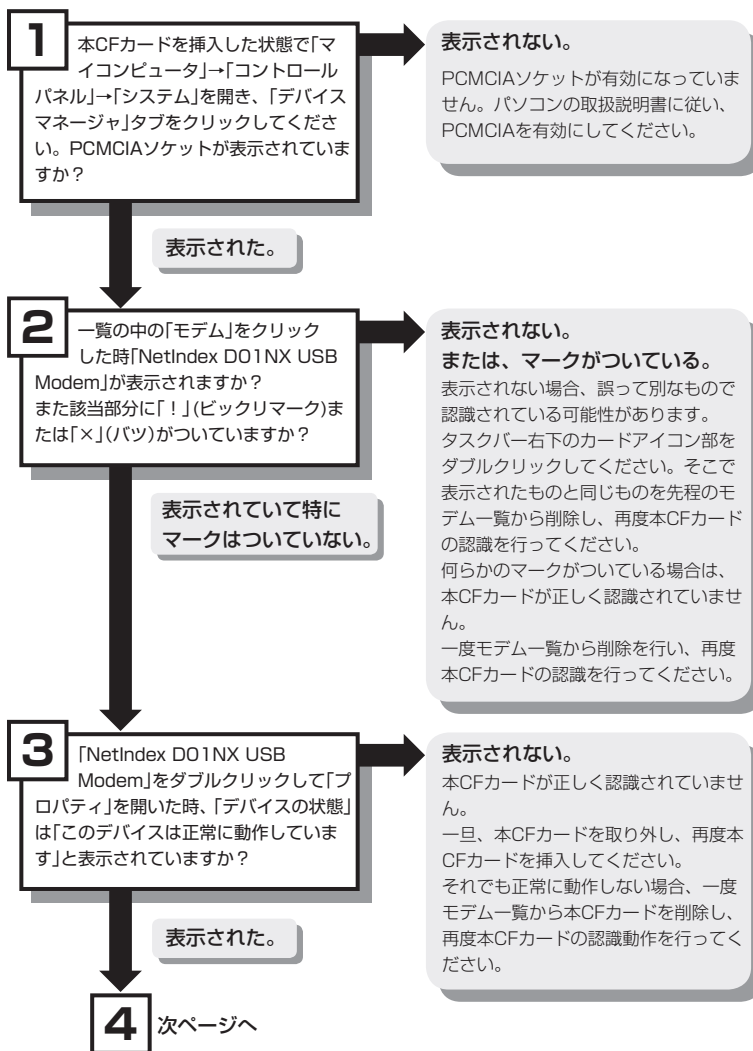
本CFカードが正常に動作しない場合は、まず以下の項目を確認してください。
確認しても動作しない場合は、ご契約先の問い合わせ窓口までお問い合わせください。

症 状	確認事項
本CFカードを差し込んでもパソコンが全く反応しない	<ul style="list-style-type: none">● 本CFカードが正しく接続されていない可能性があります。カードをもう一度、奥までしっかりと差し込んでください。● 本CFカードのドライバが正常に機能していない可能性があります。本CFカードのドライバが正しくセットされていることを確認の上、本CFカードを差し込んでください。(☞68ページ「確認フローチャート」参照)● 省エネタイプのパソコンでは、本CFカードへの電源をOFFにしているものがあります。本CFカードのランプがどちらも消灯している場合にカードへの電源が供給されていない可能性があるため、パソコンの取扱説明書に従い、電源の状態を確認してください。● 本CFカードのランプの状態を確認してください。アンテナマーク側ランプが赤点滅の場合、パソコンの電源をOFFにし、再度電源を投入してください。(☞21ページ「表示ランプについて」参照)
本CFカードをパソコンに認識させたのに通信ソフトから使えない	<ul style="list-style-type: none">● 本CFカードがパソコンに正しく認識されているか確認してください。(☞68ページ「確認フローチャート」参照) さらに手順に従って各項目を確認してください。
通信時、つながるとすぐきれてしまう	<ul style="list-style-type: none">● サーバーの設定・TCP/IPの設定を確認してください。● 接続先が混み合っている可能性があります。しばらくしてから、もう一度発信してください。
通信が安定しない	<ul style="list-style-type: none">● 電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。本CFカードのアンテナマーク側ランプが安定して緑点灯していることを確認してください。● 同ランプが緑点滅している場合は、電波の届きにくい場所である可能性がありますので、安定して点灯する場所に移動してください。
通信していないのに電力を消費する	<ul style="list-style-type: none">● 本CFカードはパソコンに挿入すると、通信をしていなくても電力を消費します。通信をしない時は、できるだけ本CFカードをパソコンより取り外してください。

症 状	確認事項
通信できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本CFカードにEM chip (USIMカード)が正しく装着されていないと、接続できません。 いったん本CFカードをパソコンから取り外して、EM chip (USIMカード)が正しく装着されているかご確認ください。 ● EM chip (USIMカード)が「PIN認証あり」に設定されている可能性があります。PINコード認証してから発信をしてください。 ● EM chip (USIMカード)がPINロック状態の可能性があります。お問い合わせ先よりPINロック解除コードを確認し、PINロック解除コードを用いてPINロック状態を解除してから発信をしてください。 ● EM chip (USIMカード)が完全ロック状態の可能性があります。お問い合わせ先にご連絡ください。 ● 別のモデムが認識されている可能性があります。「接続」のプロパティにて「NetIndex DO1NX USB Modem」にチェックが付いているか確認し、それ以外のモデムにチェックされている場合は、チェックを外してください。 ● 接続先(APN)設定、ユーザー名、パスワードなどの英数字の入力間違い、前後の余分なスペース(空白)など入力されていないかもご確認ください。 ● お近くの基地局で使える回線がすべて他の人に使用されていると、利用できない場合があります。しばらくしてから再度発信してください。
通信速度が遅く感じる	<ul style="list-style-type: none"> ● 電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。本CFカードのアンテナマーク側ランプが安定して緑点灯していることを確認してください。 ● パソコンと本CFカードとの通信速度設定が低い場合があります。特にWindowsでダイヤルアップ接続を利用している場合は、「ダイヤルアップネットワーク」の設定の中で、本CFカードとの通信速度をご使用のパソコンの上限速度に設定してください。「コントロールパネル」からの通信速度の設定は、無効になりますのでご注意ください。
ダイヤルアップなどの通信ソフトがうまく動かない	<ul style="list-style-type: none"> ● 途中で動作する場合、あるいは一部の機能は動作するが全体としてうまく動作しない場合、通信ソフトの設定が不適切な可能性があります。通信ソフトの設定内容を確認してください。 ● パソコンの電源を一旦OFFにし、再度電源をONにしてください。 ● パソコンの電池を確認してください。電池が少なくなると動作が不安定になることがあります。電池の残量が少ない場合は新しい電池に交換するか、パソコンに付属のACアダプタを使って動かしてください。

確認フローチャート

ここでは、Windows 2000/XPの場合の確認事項を説明します。他の使用環境のものに関しては、ご契約先の問い合わせ窓口にお問い合わせください。



4

困ったときに

4

確認手順 [3] の「プロパティ」内で「モデム」タブをクリックし、「ポート」のCOM番号が正しく割り当てられているか確認してください。

正しく割り当てられていない。

正しく割り当てられていない。

他のポート(通信ポートや赤外線ポートなど)と競合し、使用できない状態になっている場合は、「スタート」や「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」から「モデム」を選択してください。当社以外のモデムの部分を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。
「全般」のところで「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」をクリックしてください(Windows 2000の場合は「デバイスの状況」のところで「このデバイスを使わない(無効)」を選択)。OK選択後、表示されている画面を閉じてWindowsを再起動して、再度本CFカードを認識させてください。

5

一度「モデムのプロパティ」を閉じてください。次に、73ページ「ATコマンドの入力方法例」の手順①から⑤でターミナルソフトを起動し、入力フィールドに「ati1」と入力してEnterキーを押してください。

「DO1NX OK」が返送された。

文字が入力できない。

パソコンの設定によっては、文字が表示されないだけの場合があります。「atz」と入力してEnterキーを押し、再度「ati1」と入力してみてください。それでも入力できないときは、本CFカードが正しく認識されていない可能性があります。再度本CFカードの認識を行ってください。

「DO1NX OK」以外の文字列が返送された。

モデムの選択で違うモデムを指定しています。「NetIndex DO1NX USB Modem」を選択してください。それでも同じ状態であれば、確認手順 [3]、[4] を再度確認後、一度すべてのモデム設定を削除し、再度本CFカードの認識を行ってください。

カードの認識(セットアップ)に問題がなく、通信可能な状態です。

メニューバーの「ファイル」→「ハイパーターミナルの終了」をクリックして、ハイパーターミナルを終了してください。

ATコマンドリファレンス	72
ATコマンドの入力方法例	73
用語集	75
仕様	78
索引	79
保証とアフターサービスについて	80
保証について	80
修理について	80
補修用部品	80
お問い合わせ先	81

ATコマンドリファレンス

データ通信を行うために、本CFカードをパソコンから制御するためのATコマンドについて説明します。

なお、各ATコマンドの詳細については、本CFカードに付属しているセットアップ用CD-ROM内の「AT_Command.pdf」ファイルをご覧ください。ファイルの格納場所については下記のとおりです。

■ Windows の場合

CD-ROM内の「documents」フォルダを開き、その中の「AT_Command.pdf」をご覧ください。



5

付
録

本CFカードを制御するコマンドは、米国Hayes社の「ATコマンド」と呼ばれるコマンドで、モデムの制御などに一般的に用いられているものです。通常は、通信ソフトがATコマンドを発行するので、ATコマンドを意識する必要はありません。

独自に本CFカードを制御したい場合は、ATコマンドを制御できる通信ソフト(ハイパーターミナルなどのターミナルソフト)を用意してください。

ATコマンドの入力方法例

ここでは、通信ソフトとしてWindows 2000/XPのハイパーターミナルを使って、ATコマンドを入力する方法を説明します。

- 1 本CFカードがパソコンに接続された状態で、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」を開きます。

※Windows 2000 の場合

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」

- 2 「Hypertrm.exe」を起動します。

- 3 「接続の設定」ウィンドウ内の「名前」に適当な名前を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



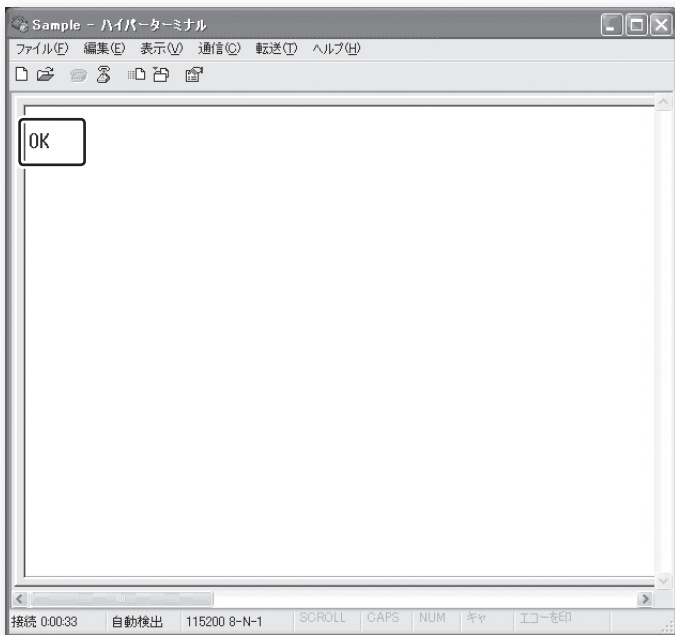
- 4 「接続方法」に「NetIndex D01NX USB Modem」を指定して、「OK」ボタンをクリックしてください。



- 5 [接続]ウィンドウで、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。



- 6 「AT」と入力しEnterキーを押したとき、「OK」と表示されたら、準備は完了です。独自の設定に変更してください。



- 7 設定の変更が終わり、ハイパーターミナルを終了するには、メニューの「ファイル」→「ハイパーターミナルの終了」を選択し、ハイパーターミナルを終了します。

[APN]

Access Point Nameの略で、パケット通信をする際の接続先名の事です。

ダイヤルアップを行う前に、データ端末にAPNを登録し、それぞれに「cid」とよばれる番号を割り当てます。

ダイヤルアップ接続を開始する際、接続先番号を「*99***x#」と入力する事で、パケット通信のダイヤルアップ接続が可能になります。(xはAPN登録番号として割り当てたcid番号を入力)

[ATコマンド]

米国Hayes社の「ATコマンド」と呼ばれるコマンドで、モデムの制御などに一般的に用いられているものです。ATコマンドは、アテンションコードである 'AT' と、引き続き文字によるコマンドから構成されます。

[bps]

Bit Per Secondの略です。情報をやりとりするスピードの単位で、1秒間に送信できるビット数を表します。

[cid]

Context Identifierの事です。パケット通信の接続先(APN)をデータ端末に登録するときの登録番号の事です。ダイヤルアップ時は、このcidを指定して接続を行います。

[DNS]

Domain Name Systemの略で、TCP/IPネットワーク環境において、ホスト名から、対応するIPアドレスを取得できるようにするサービスを提供するシステムの事です。

[HSDPA]

High Speed Downlink Packet Accessの略で、W-CDMAをさらに高速化してパケット伝送技術の1つ。3.5世代(3.5G)とも呼ばれる技術で、3GPPによって標準化されています。

[IP]

Internet Protocolの略で、インターネットで、標準で使用されている通信規約の事です。

[IPアドレス]

インターネットやイントラネットなどのIPネットワークに接続されたコンピュータや通信機器1台1台に割り振られた識別番号の事です。

[ISP]

Internet Service Providerの略称で、プロバイダと同じです。

[OS]

Operating Systemの略で、Windowsなどのコンピュータの機能を全体的に管理するソフトウェアの事です。

[PC Card Standard]

PCカードの規格です。

[レジスタ]

Sレジスタは、通信用PCカードとしての動作を詳細に制御するための数値を保持しておくものです。

[W-CDMA]

第3世代携帯電話(3G)の通信方式。CDMA方式を採用し、1つの周波数を複数の利用者が共有できます。

高速移動時144Kbps、歩行時384kbps、静止時2Mbpsのデータ電送能力があり、動画・音声のリアルタイムの通信が可能です。

【アクセスポイント】

プロバイダが用意しているインターネットへの入口です。インターネットを利用するには、アクセスポイントに電話をかけて接続します。使用するモデムの通信速度によって利用できるアクセスポイントは異なります。アクセスする場合は、通信方式にあったアクセスポイントを選ぶか、アクセスポイントにあった通信方式を設定してください。

【インストール】

インストールとは、オペレーティングシステムやアプリケーションソフトウェアが格納されているCD-ROMなどの記憶媒体や圧縮ファイルからファイルを展開し、プログラムを実行することができる状態にすることです。

【回線速度】

モデム間の通信速度のことをいいます。

【拡張ATコマンド】

本CFカードでは、固有の動作・機能をサポートするために「拡張ATコマンド」(標準的なATコマンドではない、当社独自に規定した本CFカード専用のATコマンド)を設定してあります。

【セットアップファイル】

Windows OS上において、各種モデムを動作させるために詳細設定が必要となります。セットアップファイルとは、その設定が記述されているもので単に定義ファイル、またはinfファイルとも呼ばれます。

【ダイヤルアップ】

コンピュータから電話回線経由でネットワークへ接続する方式のひとつ。

【パソコンの管理者権限】

Windows 2000/XP/Vistaのパソコンで、すべての機能を実行できる権利のことです。管理者権限の無いユーザーは、ユーティリティやドライバのインストールやアンインストールなどができないことがあります

【プラグ&プレイ】

周辺機器をパソコン本体に接続する際、ケーブルなどを接続して電源を入れると、半自動的にドライバのインストールなどを行って使える状態にしてくれる機能のことです。

【フロー制御】

データ通信を行う際に、送信側と受信側の処理速度の違いから、データが溢れてしまうことを防ぐために行われる制御のことです。パソコンとCFカード、CFカードと通信相手のモデムの間などでフロー制御が生じます。本CFカードを利用するにあたり、フロー制御は必要なものとお考えください。フロー制御には、RTS/CTS信号線を使用するハードウェアフロー制御と、XON/XOFFキャラクタを使用するソフトウェアフロー制御の2種類があります。XON/XOFFフロー制御では2種類の1バイト文字を使用してフローコントロールをしますので、バイナリファイルの転送などには不向きです。使用するフロー制御の方式は、プロバイダなどで指定していますので、それに従ってください。

【プロトコル】

コンピュータ間でデータをやりとりするときの通信規約のことです。

【プロバイダ】

インターネット接続のサービスを代行している業者のことをいいます。プロバイダは専用のサーバーをもっており、ユーザーはそこへアクセスすれば簡単にインターネットが始められます。個人でインターネットを利用する場合には、プロバイダに加入し、認証のためのユーザー名とパスワードを発行してもらいます。

【プロパティ】

ファイルやアイコンの属性や設定のことです。Windowsではアイコンを選択し、右クリックによりプロパティを開き、設定などの変更をすることができます。

【マルチユーザー】

複数のユーザーが1つの環境(パソコン)を共有することです。

【モデム】

パソコンから電話回線を利用して、通信できるようにする機器のことです。

【リザルトコード】

本CFカードではATコマンドを受け付けた場合、そのコマンドに対応した動作を行い、その結果をリザルトコードとしてパソコンへ返します。

仕様

製品名	D01NX		
対応OS	Windows XP Professional/Home Edition Service Pack1以降 Windows 2000 Professional Service Pack4以降 Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/ Enterprise/Ultimate		
形状	本体：Compact Flash Type II 準拠 PCカードアダプタ装着時：PCカード Type II 準拠		
外形寸法	60.0 mm × 42.8 mm × 5.0 mm		
重量	23 g 以下(本体)		
使用電源	+6.0 V (ホスト側より供給) 動作保証範囲：+5 V±10 %、+3.3 V±5 %		
消費電力	各種通信	W-CDMA方式 (上り最大384 kbps/下り最大384 kbps)	約1.3 W ^{*1}
		HSDPA方式 (上り最大384 kbps/下り最大3.6 Mbps)	
	待ち受け	約0.16 W ^{*1}	
環境条件(動作時)	温度環境条件：0~+35 ℃ 湿度環境条件：25~75 %RH		
制御コマンド	ITU-T v25ter & TS 27.007 ATコマンド準拠		
通信方式	パケット通信 UL：W-CDMA方式 DL：W-CDMA、HSDPA方式		
技術基準適合番号	AD07-0009001		

※1 使用状況により、消費電力値は変動いたします。

索引

A

APN54, 75
ATコマンド72, 73, 75

C

CD-ROM16
cid75

D

DNS45, 75

H

HSDPA20, 75

M

MODE21

I

IPアドレス45, 75

P

PCMCIA68
PCカードアダプタ16
PCカードスロット1
PINコード30, 51, 52

S

Setup Tool16, 32
レジスタ75

ア

アクセスポイント76
アンインストール64
アンテナマーク21

イ

イー・モバイル カスタマーセンター81
インストール33, 76

カ

拡張ATコマンド76

コ

梱包品16

ハ

パスワード45

フ

プロバイダ77

ホ

保証書17, 80

ユ

ユーザー名45
ユーティリティ33, 44, 58, 64

リ

リザルトコード77

保証とアフターサービスについて

保証について

- お買上げいただくと、保証書がついています。
記載内容および「お買上げ日・販売店」の記載事項をよくお確かめの上、大切に保管してください。
- 保証内容については保証書に記載されております。

修理について

- 修理を依頼される場合、本説明書をお読みにになり、もう一度ご使用方法や設定状態をご確認ください。それでも改善、復旧しない場合は、ご契約先のお問い合わせ窓口までご相談ください。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- **保証期間経過後の修理**
修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有償にて修理いたします。

〈ご注意〉

- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通信等の機会を逸したために発生した損害など付随的な損害の保証については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客さまが登録されたデータやお客さまが独自に設定、インストールされたソフトが消去される(出荷時の初期状態となる)場合があります。
- 本製品を分解、改造すると電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理を受付できませんのでご注意ください。

補修用部品

- 本製品および周辺機器の補修用性能部品の最低保有期間は、生産終了後6年間です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お問い合わせ先

本CFカードに関する技術的なお問い合わせ、または修理を依頼される場合は、ご契約先問い合わせ窓口までご相談ください。

〈お問い合わせ先〉

イー・モバイル カスタマーセンター



0120-736-157

受付時間 9:00~21:00 (年中無休)

ホームページ <http://emobile.jp/>



発 売 元：イー・モバイル株式会社
製 造 元：株式会社ネットインデックス
発行年月：2007年 2月 第1版
NIX-M01-06022

